

がつ がくいんふくいんか だい か あらの うんどう
5月 学院福音化、第2課 「荒野のレムナント運動」

(申6:4-9)

4 聞け、イスラエルよ。主は私たちの神。主は唯一である。

5 あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、力を尽くして、あなたの神、主を愛しなさい。

6 私が今日あなたに命じるこれらのことばを心にとどめなさい。

7 これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。あなたが家で座っているときも道を歩くとき
も、寝るときも起きるときも、これを彼らに語りなさい。

8 これをしるしとして自分の手に結び付け、記章として額の上に置きなさい。

9 これをあなたの家の戸口の柱と門に書き記しなさい。

エジプトから出てきたイスラエルは、カナンを目前にしたカデシュ・バルネアで、偵察の報告事件
によって40年間荒野で暮らすことになります。その事件の内容は何だったでしょうか？神様の契約を
絶対的に信頼せず、自分たちの判断によって絶対にカナンに入ることができないと挫折して、神様を
恨みます。それは彼らを導いてくださる神様に対する不信です。あいかわらず神様のみことばより
自分の判断に頼って善悪判断の主体者として生きようとする善悪の実を取って食べたアダムであるこ
とが暴露される事件なのです。神様はそのような彼らを荒野に、すなわちエデンから追い出して、彼
らがどれほど無力な罪人であるかを体験させるのです。アダムに根本である土地を耕して生きるよ
うにされたように、荒野の人生を生きるイスラエルに、ちり、死んだ土に過ぎないことを悟らせるの
です。申命記8章に、神はイスラエルを荒野の40年を歩ませた理由をおっしゃいます。

2 あなたの神、主がこの四十年の間、荒野であなたを歩ませられたすべての道を覚えていなければ
ならない。それは、あなたを苦しめて、あなたを試し、あなたがその命令を守るかどうか、あなた
の心のうちにあるものを知るためであった。

3 それで主はあなたを苦しめ、飢えさせて、あなたも知らず、あなたの父祖たちも知らなかつたマナ

た
を食べさせてくださった。それは、人はパンだけで生きるのではなく、人は主の御口から出るすべてのことばで生きるということを、あなたに分からせるためであった。

このみことばは、自分たちは神様の命令をすべて守りながら生きることができますと誇っていたイスラエルに、「あなたたちが本当に私の命令をすべて守って生きることができますか?」そのようにい「生きてみなさい」と神様が責められる内容です。実際、イスラエルの荒野の人生はどうでしたか?

神様のみことばと命令を一度も聞いたことがありません。結局、出エジプトしたイスラエル60万人が荒野ですべて死にました。「善悪の知識の木から食べるとき、必ず死ぬ」というみことばの成績を見せたのです。

しかし、神様は彼らの上に恵みを覆い、ヨシュア(イエス)を前に立て、荒野で生まれた出エジプト二世代を約束の地に入らせてくださるのです。荒野のレムナント運動は、神様のみことばを追つてしたが、ものとして生きるのが本当の祝福であり、上からくださったマナ、すなわちいのちのパンであるイエス・キリストを通してのみ得られる救いを説明してください「学習の場」だったのです。それをステパノは「荒野の集会」と表現しました。このような荒野の集会、荒野のレムナント運動は、今日を生きるすべての神の民が経なければならない過程です。私の力で神様のみことばを守りながら生きるのではなく、「わたしは心の貧しい者です。神様の口から出てくるみことば、イエス・キリストの恵みだけで生きることができます」と告白しながら生きるのです。主は唯一であり、心といのちと力を尽くして神、主を愛することまず心に刻み、後代に言葉だけではなく体で、生き方で見せて教えなければならないでしょう。